【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2011-68057(P2011-68057A)
【公開日】平成23年4月7日(2011.4.7)
【年通号数】公開・登録公報2011-014
【出願番号】特願2009-222073(P2009-222073)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/26　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　43/34　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　43/12　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/24　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　59/72　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/38　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　5/10　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　105/08　(2006.01)
Ｂ２９Ｌ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/26
Ｂ２９Ｃ　43/34
Ｂ２９Ｃ　43/12
Ｃ０８Ｊ　5/24　ＣＦＣ
Ｃ０８Ｇ　59/72
Ｂ３２Ｂ　27/38
Ｂ３２Ｂ　5/10
Ｂ２９Ｋ　105:08
Ｂ２９Ｌ　9:00

【手続補正書】
【提出日】平成24年9月24日(2012.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スキン材とコア材とからなるサンドイッチ構造成形物であって、スキン材がエポキシ樹脂（Ａ）、塩化ホウ素アミン錯体（Ｂ）及び強化繊維基材（Ｃ）からなり、エポキシ樹脂（Ａ）のエポキシ当量から計算されるエポキシ基のモル数に対し、塩化ホウ素アミン錯体（Ｂ）中のホウ素原子のモル数比が４～７モル％であるサンドイッチ構造成形物。
【請求項２】
スキン材とコア材とからなるサンドイッチ構造成形物の製造方法であって、スキン材がエポキシ樹脂（Ａ）、塩化ホウ素アミン錯体（Ｂ）及び強化繊維基材（Ｃ）とからなり、エポキシ樹脂（Ａ）のエポキシ当量から計算されるエポキシ基のモル数に対し、塩化ホウ素アミン錯体（Ｂ）中のホウ素原子のモル数比が４～７モル％であるスキン材と、コア材からなるプリプレグとを積層した後、加熱加圧して前記プリプレグを硬化するサンドイッチ構造成形物の製造方法。